

第1回東海市公の施設の指定管理者選定委員会会議録

日 時 令和5年（2023年）8月17日（木）

午後1時30分から午後4時25分まで

会 場 庁舎501会議室

出席者 委 員：鈴木健司委員長、加藤知子職務代理、鈴木順子委員、
松田剛委員、渡邊和夫委員

農 務 課：中島課長、角田主幹、麻生主任、榊原主任

健康推進課：橘健康いきがい対策監兼健康推進課長、竹内主幹、川地主事

スポーツ課：鈴木教育委員会次長兼スポーツ課長、土田統括主任、
荒谷主事、菊池主事

花と緑の推進課：渡邊課長、柏崎統括主任、榊原技師

女性・子ども課：永井課長、島袋統括主任、永井主任

高齢者支援課：徳永課長、佐治主幹、猪熊統括主任、池田主事

事 務 局：成田企画部長、内山企画政策課長、稲葉統括主任、鶴見主任

欠席者 委 員：なし

会議の可否 公開

傍聴者 なし

（内 容）

1 開 会

2 企画部長あいさつ

3 公の施設の指定管理者の管理運営状況の評価及び候補者選定についての諮問
企画部長より委員会へ諮問

4 諮問補足説明

管理運営状況の評価の進め方について事務局より説明

5 令和4年度（2022年度）施設の管理運営状況の評価について

(1) 東海市クラインガルテン

施設担当課より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

渡邊委員： 6 ページ「事業評価書利用状況等分析シート」の「農園利用者」について、目標値と比較すると実績が高くなっている。コメントで悪天候等の記載もあるが、実績が高くなっているため、目標値の設定が低いのではないかと。

担当課： 次回、目標値の設定を見直す。今後、みかん園の改植が進むと一時的に収穫量が減り、みかん狩りの利用者も減ってくることを考慮しながら目標値を設定していく。

委員長： 3 ページ「※1 利用状況」の施設利用者数 83 人は 83 区分あつて満杯であるということか。

担当課： その通りである。

委員長： 担当課では親子とのふれあいを検討していきたいということだが、みかんの収穫などでしか打てないのでは。

担当課： その通りである。あとは、自主事業で例えばシイタケの自然観察会等をやってもらっているため、そういったことにも期待をしている。

委員長： 施設の稼働が非常にハイパフォーマンスなため、これ以上はなかなか難しいと思うが、逆に言うとすごくしっかり運営されていると思う。

委員長： 事業収支が少し赤字となっている。特に問題はないと思うが、何か気づいた点はあるか。

担当課： かなり綺麗に管理をしていただいているため、年によって草の伸び方は違うが、草刈りや清掃にかかる人件費が少し増えている。

[審査結果]

総合評価： B

(2) 東海市立デイサービスセンター

事務局より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

渡邊委員： 2 ページ「I 履行の確認」の「施設所管課の評価」に「加木屋につ

いては、コロナ感染症や近隣施設の影響を受け利用者増加につながらなかった。」とあるが、近隣施設と加木屋を比較して立地的な部分や施設の部分でどういう差があるのか。

担当課： 加木屋は近隣に新しい施設がたくさんできていると聞いている。コロナの影響が明けてもすぐには利用に來られない方もいるし、施設を変わった方もいるので、影響を受けている。

渡邊委員： 施設そのものについてはどうか。

担当課： 予算的などころもあり、うまく準備ができていないというのは避けられない状況である。

委員長： 民間施設の方が施設のにも良くて、利用者さんがサービスというと民間を選んでしまう傾向があるのではないかということか。

担当課： その通りである。ただ、人的なところでフォローをするなどしているため、一概には言えないが、利用者が少し離れていると感じている。また、加木屋デイサービスについては、施設のあり方を見直している最中であり、今年度改修費用の予算がついているため改修予定である。利用が増えるような位置付けに変えて再スタートを切れるよう動いている。

委員長： 民間施設がどのようなサービスなのか、どのような施設なのか、何が利用者を引き付けていて利用が増えているのかななどを、今後検討して調べて位置付けを明確にしていく方が良い。

渡邊委員： 加木屋は非常に環境が良いところだと思う。保育園が近く子どもと身近なところで接することができるなど環境がとても良いため生かしていけると良い。

委員長： 3ページ「Ⅲサービスの安定性の評価」の「施設所管課の評価」に「しあわせ村デイでは、事業収支は212.5%であった為大幅な改善が見受けられる。」と記載があり、非常に努力されたと思うが、事業収支が改善した大きな理由は何を分析しているか。7ページ「※3事業収支」を見ると、当初予算より実績がかなり抑えられたのかなと思うが、何かあったのか。

担当課： 大きな要因としては、障害者デイサービスの利用者が105人増加

しているため、その分の事業収支が向上したと見ている。また、消耗品が大きく計画より半分くらいは減っていたり、備品購入費も計画はあったが、実績がないなど努力をされていると思う。

鈴木委員： 人件費が計画より実績が減っているのは、利用者数が減っているのに並行してなのか。

担当課： おそらく人員の入れ替えなどで計画の時より実際雇用している人が新しい人であったりなど計画と実績の差ではないかと考えている。

委員長： 障害者デイサービスの利用者数が105人増えたというのは延べ利用者数で良いか。

担当課： その通りである。

委員長： 新規に利用者が増えたのか、今まで使っていた利用者が利用する日を増やしたのか。

担当課： おそらく定期的に使っている利用者の利用日が増えたと思われる。

委員長： 105人増えたのが、サービスを良くしたから増えたというよりは、利用者の都合で増えたと言えるため、単純に増えたから良かったというわけではないと思うので、データを分析して活用されたら良いと思う。

[審査結果]

総合評価： B

(3) 東海市しあわせ村

施設担当課より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

職務代理： 10ページ「様式⑤：提案事項に関する実施状況一覧表」の「⑥自主事業」について、対応状況等で「新型コロナにより納涼盆踊り大会中止」と記載があるが、記号が実施中の「○」になっており、一部実施のため「□」ではないか。

12ページ「3. 嚶鳴庵自主事業」の表の下に、「※感染症感染拡大の影響により中止」とあるがどちらの記載のことか。

19ページのアンケート「主な意見」の「2. 不満な方の意見」の中で、「ガラスにひびが有り落ちてこないか心配」との記載があるが、「(対応済)」の表記がないため、その後どうなっているか教えてほしい。

担当課： 10ページの対応状況等の記号については、一部実施の「□」が正しい表記となるため、修正する。

12ページの「※感染症感染拡大の影響により中止」については、以前の記載が残っていたため、削除し修正する。

19ページのガラスのひびについては、近々直す予定である。

松田委員： 7ページ「事業評価書利用状況等分析シート」の「温浴施設利用者数」の計画について、令和4年度から前年の約半分としているが、なぜか。

担当課： 令和4年度は人数の制限をかけていたため、それを見込んだ計画となっている。

委員長： コメントのところへその旨記載をお願いします。

鈴木委員： 19ページのアンケート「主な意見」の「2. 不満な方の意見」の中で、「くつを脱いだ後のマットがあまりキレイではない」との記載があるが、1ページ「I 履行の確認」の「3 (2) 清掃、警備等業務」が「A」評価となっている。どのように判断しているか。

担当課： 絨毯敷きのところのため、長年の積み重ねで少々汚れてはいるが、清掃についてはきちんとされているためA評価としている。

委員長： 19ページのアンケート「主な意見」の「2. 不満な方の意見」で対応済と記載のないところも対応してないわけではないと思うので、加筆しておいた方がよい。

委員長： 1, 2ページ「自己評価」や「所管評価」「前年度評価」のアルファベットのフォントが半角と全角と混在しているため、統一をしておいた方がよい。

委員長： 4ページ「※事業収支」の「(2) 支出」の光熱水費について、想定より2, 600万円ほど増加していて、そのまま事業収支で赤字となっているような気がする。かなり事業者はきついと思うが、事業者か

ら何か要望等あるか。

担当課： 電気代とガス代については、設定された単価の5%を超えて増減した分について補填・返還するという協定内容になっているため、令和5年度の補正予算にて計上し、現在支払いの処理をしているところである。

委員長： 7ページ「事業評価書利用状況等分析シート」の「嚶鳴庵呈茶サービス利用者数」が増加しており、コメントにて「ブログ・SNS等の広報活動の効果」と記載があるが、具体的にどういうPRをしたのか。

担当課： テレビの取材申込みがあれば積極的に受けていて、やはりテレビで放映されると効果が絶大で放映後は集客が増加する。

また、会社のブログや個人のSNS等を活用してイベントの告知などに活用している。

委員長： 子ども会のような団体客が多いのか、個人のグループ客が多いのか。

担当課： はっきりとはわからないが、散歩の途中で寄られる方も多いと聞いている。また、日本建築のため撮影で利用されることもある。

委員長： 9ページ「事業評価書利用状況等分析シート」の「自主管理事業の参加人数」について、マルシェイベント等を行ったため参加人数が増えたという分析をされているが、それ以外の要因はあるか。

担当課： 興味に沿った教室等の事業展開やマルシェやワークショップでキッチンカーを呼ぶなど参加者が楽しめるよう工夫を行った。

[審査結果]

総合評価： B

(4) 東海市営温水プール

施設担当課より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

職務代理： 11ページ「職員研修報告一覧表」の「コンプライアンス研修」の個人情報保護法の理解について年1回と記載があるが、日付が記載されていないので実施してないということか。他にも採用時と記載

のある「水泳指導研修」の安全な指導方法の理解や「設備維持管理研修」の設備の仕組みの理解について、日付が記載されていないので実施していないのか記入漏れか。

担当課： 「個人情報保護法の理解」については、スタッフが各自、年に1回受けている。雇用契約更新のタイミングに受けており、決まった日に受けていないため空欄としていた。「安全な指導方法の理解」と「設備の仕組みの理解」については、スタッフの配属場所によって受けなくても良い人がおり、受ける場合は採用時に受けている。決まった日に受けていないことから、空欄としていた。実施はしているため、実施日を入力して修正する。

鈴木委員： 3ページ「※3事業収支」の「(2)支出」⑮その他について、計画と実績の金額がかけ離れているが内容は何か。

担当課： 計画時、⑮その他に⑫租税公課分を計上してしまっており、実績では正しく⑫租税公課に計上したため、計画と実績の差が出ている。

委員長： 4ページ「6その他の追記項目」について、アンケート調査では満足度は非常に高かったが、回答件数が少なかったため1ページ「IIサービスの質の評価」の「1利用者満足度」をB評価としたとのことだが、具体的にアンケート回答件数はどうだったのか。

担当課： 昨年度が265件、今年度は255件と昨年度から減っていることと、指定管理者の自己評価がBだったことからB評価とした。

委員長： 昨年度と件数にそれほど差がないことと、255件で不満足がなかったというのは素直に評価して良い。A評価だと思われる。

担当課： 指定管理者の方も謙遜しB評価をつけているところもあるため、A評価に修正する。

渡邊委員： 9ページ「指定事業実施報告一覧表」の参加料について、金額設定は一般的に妥当な金額なのか。

担当課： 指定事業は市が費用を負担して指定管理者へ実施を依頼している事業のため、民間の子ども向けプール教室と比較するとかなり安い金額設定となっている。

渡邊委員： 施設的环境はどうか。

担当課： 大きさとしては、50mが8レーンあることが特徴的である。一般的には25mが多い。

委員長： 安い金額設定のプールに集中せず、民間のプールにも運営できるだけの利用者がいる理由があるのか。

担当課： 指定事業では初めての子を対象にした内容としていて、民間では初めてからレベルアップして全国大会等を目指すという取組みをやられているという違いがあると思う。

鈴木委員： 3ページ「※3事業収支」「(2)支出」の⑩光熱水費の実績が上がっていて、しあわせ村と同じように影響を受けているかと思うが、事業収支は黒字となっていて、しあわせ村と同じB評価というのはどういう理由か。

事務局： しあわせ村は指定管理料に占める光熱費の割合が40%以上となっているため、協定書に設定した単価の5%を超える増減があった場合精算をするという項目がある。一方、温水プールは指定管理料に占める光熱費の割合が20%少々のため、協定書に精算の項目を入れていないという状況である。

担当課： 温水プールでもガスや電気の値上げはかなり影響を受けているが、指定管理者が自主事業を増やして収益を上げたり、支出の無駄をなくすなど極力努力をして事業収支が黒字となっている。

鈴木委員： 指定管理者は頑張っていると思う。個人的にはしあわせ村等と同じB評価ではなくA評価で良いのではと思う。

担当課： 光熱水費の高騰分を、人件費や清掃費の削減、自主事業の追加増設等で対応し、収支を黒字にしていることは評価できる。ただし、例年同様、協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容であると判断しB評価としている。

松田委員： 8ページ「自主事業実施一覧表」の元々の定員に対しての参加者数が多くなっているが、表の見方を教えてほしい。

担当課： 元々の定員は、定員と記載のある部分の人数だが、応募が多いため受け入れられる範囲で人数を増やして受け入れたり、時間を変更して教室を増やして受け入れるなど工夫をしているため、参加者数が

定員の記載より多くなっている。

松田委員： 元々の定員に対して、参加率など実績がもう少しわかりやすいよう表現してもらえると良い。

[審査結果]

総合評価：B

(5) 東海市都市公園・東海市立運動公園

施設担当課より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

職務代理： 25 ページ「都市公園業務状況報告書」のつる草刈取について、36人と記載があるが、36回の間違いではないか。

担当課： その通りであるため、修正する。

職務代理： 40 ページ「令和4年度修繕料調書（都市公園施設修繕）」のNo. 3, 4, 16 など、伐採の場合は修繕になるという理解で良いか。

担当課： 基本的には委託の中で剪定や計画的な伐採を行っているが、利用者からの要望や苦情、情報提供があつて個別で伐採する等迅速に対応しなければならない場合は、修繕で対応している。

職務代理： 42 ページ「令和4年度修繕料調書（都市公園施設修繕）」のNo. 45 「加木屋緑地 樹木等伐採修繕」とあるが、修繕内容概要に「クスノキ3本、草等」と記載がある。草刈りの委託があるが、こちらでも草を刈っているのかと気にされる方がいるかもしれない。

担当課： クスノキを3本伐採した際に下草を刈ったものであるため間違いではないが、今後委託との兼ね合いについて気をつけていきたい。

職務代理： 48 ページ「令和4年度修繕料調書（運動公園備品修繕）」の一覧が空欄だが該当なしということか。

担当課： その通りである。

委員長： 4 ページ「※4 経営状況分析指標」①事業収支の計画時点でマイナ

ス計上となっていて、本当はありえないが理由は何か。

担当課： 指定管理者に確認したところ、光熱水費や人件費が上がってきている中で計画時点はマイナスとなっているが、請負残の有効活用により最終的にはプラスになるようにしているとのことである。

委員長： 光熱水費の増額を見越した数値を計画の段階で入れているのか。

担当課： 光熱水費については、計画時点から令和4年度の上昇率を見越して入れている。

渡邊委員： 各公園の古木等の点検は定期的に行っているのか。

担当課： 専門家による定期的な点検は行っていないが、各公園について指定管理者が3日に1回程度巡回パトロールを行って、目視で確認している。

渡邊委員： 公園利用者からの情報提供を受けることはあるか。

担当課： 公園利用者から花と緑の推進課や公園管理事務所等に直接情報提供いただいて対応することもある。散歩している方だと毎日見ている分変化に気づきやすいという点もあるので、情報源として大切にするとともに早期発見に努めていきたい。

松田委員： 2ページ「成果・課題等」で指定管理者の課題認識として、働いている方々の高齢化について記載があるが、所管課として高齢化への対応についてはどう考えているか。

担当課： 今までは市役所を退職した職員の補充があったが、それがなくなってしまうため、自力で採用しようとしてはいるが、単価等非常に難しい課題に直面している現状である。深刻な課題であるため、引き続き検討していく。

委員長： 1ページ「自己評価」や「所管評価」「前年度評価」に記載のアルファベットについて全角と半角が混在しているため、統一しておいた方が良い。

[審査結果]

総合評価： B

(6) 東海市立養父児童館・東海市立養父健康交流の家

事務局より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

職務代理： 4 ページ「※3 事業収支」 「(2) 支出」 の⑥修繕費について0円と記載があるが、8 ページ「様式③：指定管理業務実施状況一覧表」で排煙窓オペレーター修繕は費用がかからなかったということか。

担当課： 修繕料について3万3千円を超えるものは、市が支払うことになっている。今回の修繕は5万円ほどだったため、市が負担しており、指定管理者としては修繕費がかかっていないという状況である。

委員長： 3万3千円を使ってさらに不足分を市が補助して修繕したという方が、良いのではないか。修繕しているのに、実績額が0円というのが少々不自然である。

事務局： 協定書にてリスク分担を明記しており、養父児童館・健康交流の家の修繕については3万3千円以内のものは指定管理者、それを超えるものは市の負担としている。指定管理者で迅速かつ臨機応変に修繕の対応をしてほしいというところもあり、指定管理料の中で計上している。ずっと修繕がないと収益みたいになってしまうが、定期的に確認をして修繕するよう指摘はしている。今後、表記も含めて検討していく。

鈴木委員： 4 ページ「※3 事業収支」 「(2) 支出」 の⑩草刈委託費において計画はあるが実績がないのはなぜか。

担当課： 草刈委託は実施せず、指定管理者で草刈を行ったため実績がない。

事務局： 計画では委託予定だったが、地元の方々が管理をしている施設になるため、地元の方々がボランティアで草刈を行うなど結果的に今回は委託料としては未執行となっていると思う。指定管理者の努力で支出を抑えている。

鈴木委員： ⑩消防設備保守委託費が計画より実績が上がっているが、備考に理由を記載すると良い。

担当課： 防火対象物点検の積算が漏れていたため、計画より実績が上がっている。

鈴木委員： 5 ページ「事業評価書利用状況等分析シート」の「児童館利用満足度」について、コメントで「遊びの内容の制限が続いていることへの不満がみられた」との記載があるが、コロナ対策による制限に対して不満があるということか。

担当課： その通りである。

[審査結果]

総合評価： B

(7) 東海市立大池健康交流の家

事務局より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

渡邊委員： 前年度選定委員会付帯意見として、人員不足や勤務体制について述べていた。「I 履行の確認」の「1 (1) 職員配置」の評価が、養父児童館・健康交流の家や千鳥健康交流の家についてはB評価だが、大池健康交流の家についてはA評価となっている。評価が異なる理由は何か。

担当課： B評価のところについては、前年とあまり変わりはない。A評価とした大池健康交流の家については、今回地元の方と協力しながら、館長を若い方へ交代することができたという体制ができてきたというところを評価した。養父と千鳥については、まだそこまでの体制はできていないため今後も引き続き取り組んでいく。

渡邊委員： どういう理由でA評価としたかということ把握して、他地域の施設にも生かしていけると良い。

委員長： 人員不足や勤務体制については、引き続き付帯意見として述べていく。

[審査結果]

総合評価： B

(8) 東海市立千鳥健康交流の家

事務局より資料に基づき管理運営状況の評価について説明

[審査にかかる主な意見・質疑]

鈴木委員： 1 ページ「I 履行の確認」の「4 (1) 指定事業」と「4 (2) 自主事業」がA評価となっている。養父児童館・健康交流の家と大池健康交流の家と比較してあまり違いがないように思えるがA評価とした理由は何か。

担当課： 指定事業については、コロナの影響で飲食の提供ができなかった時期もあったが、コロナ前の水準で計画通り実施できたことを評価している。自主事業については、コロナの影響で夏祭り等の大きなイベントは中止となっていたため指定管理者側はB評価であったが、担当課としてはゴムバンド運動やいきいき百歳体操などについて、対策を取りながら毎週実施していたことからA評価とした。

鈴木委員： 大池健康交流の家もゴムバンド運動やいきいき百歳体操をやっているが、前年と同じことをやっているからB評価なのか。

担当課： コロナの影響で多少縮小してやっていた部分があったため、大池健康交流の家はB評価とした。

委員長： 大池健康交流の家と千鳥健康交流の家の条件が違うため一概には比較できないが、対策を練って実施しているものを、人数・回数が多かったことだけで良かったと評価できるのか疑問に思う。

担当課： 確かにどちらが良いということは特にないとおもうが、コロナの制限が明けて自主的に行ってくださいとなった段階で計画通りに実施できたところを今回は評価した状況である。

[審査結果]

総合評価： B

6 今後の予定について

(1) 次回開催予定

令和5年(2023年)8月25日(金)午後1時30分から

市役所501会議室（5階）

7 閉 会